

のりみが語る!!「横浜ってこんな街！」

27年度の予算規模と市税収入の状況

➤ 一般会計の伸び率は、+5.4%で、プラス予算

会計名称	27年度	26年度	増▲減	増減率
一般会計	1兆4,955億円	1兆4,182億円	773億円	5.4%
特別会計	1兆3,947億円	1兆3,756億円	192億円	1.4%
公営企業会計	5,918億円	7,215億円 (5,702億円)	▲1,297億円 (215億円)	▲18.0% (3.8%)
総計	3兆4,820億円	3兆5,153億円 (3兆3,640億円)	▲333億円 (1,180億円)	▲0.9% (3.5%)

注：公営企業会計及び総計の26年度下段()内は、地方公営企業会計基準の見直しに伴う退職給与引当金の計上等の影響額を除いたものです。

➤ 市税収入の見込み額は、7,095億円 (▲1.4%)

- ・ 法人市民税の一部国税化による税率引下げ
- ・ 固定資産税の評価替え

人 あらゆる世代の人の力を引き出します

子育て支援・子ども・若者の育成

- ・ 小児医療費助成の対象を拡大

27年10月から小学1年生→3年生へ

- ・ 中学校昼食の28年度実施への準備・子ども・子育て支援制度がスタート

保育園待機児童ゼロの継続

放課後キッズクラブを31年度までに全小学校に設置

女性・シニアの活躍支援

- ・ 女性起業家の支援・シニアの地域貢献モデル事業の推進

370万人の健康づくり

- ・ よこはまウォーキングポイント

企業 企業を支援し活力あふれる横浜経済を実現します

成長分野の育成・産業拠点強化

- ・ 国家戦略特区の活用・中小企業・商店街の活性化支援・企業誘致の強化

都心臨海部の再生・機能強化

- ・ 山下ふ頭の再開発に推進

- ・ 新市庁舎・横浜文化体育館の再整備・新たな交通の導入検討

観光・MICE・文化芸術創造都市

- ・ 20街区での新たなMICE施設整備

- ・ 「Dance Dance Dance @YUKOHAMA2015」の開催

郊外部の再生・活性化・持続可能な住宅地モデルプロジェクト

- ・ 米軍施設の跡地利用の推進

災害に強いまちづくり

- ・ がけ地防災対策の強化・地震防災戦略の推進・都市インフラの強化

- ・ 横浜環状道路の整備・神奈川県東部方面線の整備・外国客船の受入機能の強化



急速な少子高齢化の進展や人口減少社会の到来に加え、インフラの老朽化や交通ネットワークの変化が進んでおり、横浜市を取り巻く都市環境は大きく変化しています。4年後をピークに、市の人口は減少に転じ、10年後には65歳以上の高齢者の数は100万人に達する見込みです。私は、この4年間「人づくり！まちづくり！幸せづくり」を目指して議員活動を行ってきました。横浜の魅力は「市民力」だと思っており、これからも“人”の力を引き出し、魅力ある横浜を目指していきたいです。その中でも、子育てをしながら市民活動や仕事をしてきた者としては、女性の活躍の場をもっと増やしていきたいと思っています。また、子供達が将来に夢を持てる社会、自分の子供だけではなく、子供が巣立っていく社会全体が良くならなければならないと考えていますので、市内事業所の99%を占める中小企業の方々の活躍、地域では商店街の魅力を高められるよう働いていきたいと思っています。